

Rotary



# The Hitoyoshi Rotary

人吉ロータリークラブ

通算 3 2 3 6  
2025年3月28日  
第30回例会

## The Magic of Rotary

ロータリーのマジック

2024~2025年度 R I 会長  
ステファニー A アーチック

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎ 2171 例会場 事務局 清流山水花 あゆの里内 ☎ 6665 ☎ 6505

人吉ロータリークラブ  
ホームページ

フェイスブックページ

[E-mail]

hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

2024~2025年度 人吉ロータリークラブテーマ  
もっと、ロータリーを楽しもう

### 本日の例会

国歌斉唱・Rソング斉唱

来訪者紹介、会長の時間

幹事報告

出席率報告、会務報告

会長エレクトセミナー報告

外部卓話 人吉市 復興政策部

寄付カード

点鐘 岩井和彦 会長

歌 哈唱 ソングリーダー 米田幸司 委員

国歌 「君が代」  
R S 「奉仕の理想」

司会・進行 プログラム 春木 顕 委員長

### 来訪者紹介

人吉市復興政策部 次長 竹内 常泰 様  
〃 復興建設部 次長 井上 敬明 様  
〃 市街地復興課  
市街地復興係 係長 山尾 高史様

### 会長の時間

会長 岩井和彦

皆さんこんにちは。本日は、「人吉市まちなかグランドデザイン推進アクションプラン」が決定し、いよいよ運用がスタートしたことを受け、その内容についてお話を伺う機会を設けました。人吉市復興支援課よりアクションプランの概要を紹介いただくとともに、市街地復興課からも現在の復興状況についてお話をいただく予定です。後ほどのご講演をよろしくお願ひいたします。

さて、本年はロータリー青少年交換が、国際ロータ

リーの公式プログラムとして50周年を迎える年だそうです。この50年間を通じて、ロータリーを通じた学生たちは異文化を体験し、国を超えた友情を育み、グローバルな市民として成長してきました。クラブや地区で青少年交換に携わってこられた方々であれば、交換に参加する学生の準備やサポートのために、多くの方々が多大な努力を注いでこられたことをご存じかと思います。2018年以降、ロータリーでは平均して毎年約7,500人の交換留学生の派遣と受け入れが行われており、それを世界中で約25,000人のボランティアが支えてきました。50周年を迎えるにあたり、これらボランティアの貢献を讃えましょうというメールが届きましたのでご紹介させていただきました。ブログ記事に「数字で見るロータリー青少年交換の50周年」（日本語版）が掲載されていますので、興味のある方はぜひご覧ください。

当クラブも、コロナ禍以前は慶山RCと青少年交換事業を行っておりましたが、コロナ、水害、そして会員数の減少により、近年は実施できておりません。今年度、慶山RCより再開のオファーをいただきましたが、今回はお断りさせていただきました。しかし、今後も姉妹クラブの関係を続けるうえで、いずれこの事業も再開されるものと思います。その際には、全会員のご協力のもと事業を支えていただきますようお願いいたします。

話は変わりまして、先日開催しました「チャレンジカップ」にご協力いただいた会員の皆様、また、2度にわたり準備をしてくださった竹長委員長をはじめ、社会奉仕委員会の皆様には大変お世話になりました。

あいにくの雨天により競技は体育館にて実施となりましたが、無事に大会を終えることができましたことに感謝申し上げます。選手の皆さんのがキラキラとした目で一生懸命に取り組んでいる姿を見て、開催して本当に良かったと実感いたしました。数年前、渡辺会長のタイの赤族支援の事業で「輝く瞳に会いに行こう」というキャッチコピーがありましたが、今回の大会でその言葉を思い出しました。選手たちの瞳は、私たちが忘れていた何かを思い出させてくれるかもしれません

ん。次回開催の際には今回参加されなかつた皆様も、ぜひご参加いただければと思います。大会報告は18日に予定しておりますので、竹長委員長には引き続きよろしくお願ひいたします。

最後に、優良職員のご推薦のお願いと、来週の花見例会は葉桜になつてしまふかもしませんが、満開の桜の風景を目に焼き付けてご出席いただきますようお願ひしまして会長の時間を終わります。

### 幹事報告

幹事 伊久美早利

#### ○中津中央RC創立50周年行事の案内

日時 5月10日 (土)

記念式典16時 祝賀会17時 会費15,000円

#### ○RLI卒後コースの案内

日時: 5月10日 (土) 13時~17時

懇親会: 熊本ホテルキャッスル18時~20時

会費 9,000円

#### ○今後の例会について

・4/4 花見会 (芳野旅館)

・4/11 通常例会 環境月間卓話

・4/18 通常例会 優良職員表彰

### 出席率報告

委員長 吉野孝司

現会員数	52名	出席免除会員数	0名
出席義務会員数	52名		
欠席者数	13名		
出席者数	39名		
免除会員出席数	0名		

**本日の出席率  
75.0%**

### 会長エレクト研修セミナー(PETS) 報告

2025年3月8日(土)・9日(日)

大分市「ホルトホール大分」

会長エレクト 塚本哲也



皆さんこんにちは。本日は、3月8日・9日に大分市のホルトホールで開催された会長エレクト研修セミナー (PETS) の報告をさせていただきます。

当日は、本田節ガバナー補佐エレクトと、当クラブの岡本会員のお父様で、人吉中央ロータリークラブで2回目の会長を務められる岡本光雄会長エレクトと3名で、朝8時に車で人吉を出発しました。熊本インターで高速を降り、大津インターから阿蘇方面へ抜け、竹田市からは無料高速を利用し、正午にホルトホールへ到着いたしました。

道中では、本田さん、岡本さんからロータリーに関するさまざまなお話を伺うことができ、大変有意義な時間となりました。特に岡本さんは、すでに例会の前後に15分ほどかけて、すべての会員に現在のクラブに対する感想や要望の聞き取りを行っておら

れ、驚かされました。2回目の会長職という経験、年齢、そして実績と信頼があつてこそ可能な行動であり、その実行力には本当に感心いたしました。さらに、次年度に取り組む事業のスケジュールも数ヶ月先まで立てておられ、その話を聞くだけで、私も身の引き締まる思いがしました。なお、第6グループの会長エレクト5名のうち、私以外の4名がすでに会長経験者ということもあり、先月のRLIパートⅢに引き続き、今回のPETSでも昼の研修はもちろん、夜の研修(懇親)も気合を入れて臨んでまいりました。

また、午前中のローターアクトの会議には、加登住会員も遠方より参加いただきお疲れさまでした。

アクトのメンバーも両日とも参加しており、和やかな雰囲気の中で楽しく研修を受けることができました。

PETSは午後1時からスタートし、当クラブの次年度ラーニング副委員長である中川さんの司会進行により始まりました。

藤田ガバナーエレクト、三村ガバナー、延岡ガバナー、ミニーのご挨拶に続き、研修が本格的にスタートしました。なお、延岡さんの紹介が一度抜けてしまうというハプニングもありましたが、その後は地区方針、ロータリーの戦略計画、グループディスカッション、出前セミナーのPR、会長の時間の意義など、非常に充実した内容となっていました。

また、閉会前には、当クラブの次年度ラーニング委員である水野さんより、評価書の入力方法について説明がありました。水野さんは「人吉ロータリークラブの塚本さんは理解できましたか?」と突然私に質問され、「分かりました」と一応お答えしましたが…水野さん、安心していただけたでしょうか?正直なところ、アナログ人間の私には少し難しく感じましたが、がんばって理解したつもりです。

その後、午後6時半からはホテル日航大分オアシスタワーホテルにて盛大な懇親会が開催されました。第6グループの皆さんと同じテーブルになり、親睦を深めることができました。2次会も非常に盛り上がり、地元ロータリアンの皆さん「ニカソ」を注文していたので、私も真似して注文してみたところ、それは「二階堂のソーダ割」でした。織月ほどではありませんが、とても美味しく、つい飲みすぎてしましました。その後、水野さんたちとお約束のラーメンを食べて1日目を終えました。

2日目は、本田節ガバナー補佐エレクトを囲んで第6グループのワークショップが行われ、次年度のスケジュール等について理解を深めることができました。続く危機管理研修でも、人吉ロータリークラブの立場に置き換えて多くの学びを得ることができました。

以上、簡単ではありますが、PETSの報告とさせていただきます。

最後に、来週大分で開催される地区・研修協議会にご参加いただく皆様には、お忙しい中とは存じますが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。ご清聴ありがとうございました。

## 【プログラム委員会】

### 外部卓話

#### 「人吉市の町づくりと復興の現状について」



人吉市復興政策部  
次長 竹内常泰 様

皆様、改めましてこんにちは。人吉市役所復興支援課の竹内と申します。本日は「人吉市まちなかグランドデザイン推進アクションプラン」について、簡単ではございますがご説明させていただきます。お手元に、縦長の概要資料があるかと思います。そちらをご覧になりながら、お聞きいただければと思います。

令和2年7月の豪雨災害から、今年で丸5年を迎えるわけでございますが発災後、これまでの経緯といたしまして、人吉市では復旧・復興を一日も早く進めるため、令和3年3月に「人吉復興計画」を策定し、復興の基本方針や施策の方向性を定めました。

その後、被害が大きかった市内の8つの地区で懇談会を重ね、それぞれの地区の特性や被害の状況、地域の皆様のご意見を踏まえながら、令和3年10月には「復興まちづくり計画」を策定いたしました。

この「復興まちづくり計画」では、特に市街地の中心となる「紺屋町・九日町地区」、「青井地区（青井阿蘇神社周辺）」、そして「麓町・老神町地区（人吉城周辺）」の3地区について、人吉の“まちなか”を形成する重要なエリアとして位置づけ、それぞれの地区を調和・連携させた未来のまちづくりを進めていく「人吉市まちなかグランドデザイン」という将来ビジョンを掲げました。

本日ご説明いたします「人吉市まちなかグランドデザイン推進アクションプラン」は、そのビジョンを具体的に実現するための考え方や、まちの拠点ごとの将来像を示したもので、プラン本編は全体で約90ページと大変ボリュームがありますので、本日はその中から概要版に基づいて、ポイントを絞ってご説明させていただきたいと思います。

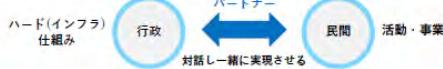
## 人吉市まちなかグランドデザイン 推進アクションプラン

### 概要版

#### はじめに～安心して住み続けられるまちづくり～

人吉市では、令和2年7月豪雨からの復旧・復興のため「人吉市復興まちづくり計画」に基づき、球磨川水系流域治水プロジェクトと連動して、安心して住み続けられるまちづくりを進めています。なかでも特に被害が大きかった「まちなか」エリアを対象に、首（行政）と民（民間）が連携してまちの将来の姿を具体化し、実現するために多くのの方々と対話を重ねて取り組んだのがこのアクションプランです。

地域の個を喪失せざる人吉らしい姿でありながらも、より豊かな未来につむるために、災害から元の姿に戻すのみでなく、暮らしとなりわいの復興のその後の姿を重ねてみてください。



### 私たちが描くまちづくりのサイクル

#### 住み続けたい・行ってみたい・共に楽しむまちへ

アクションプランを通じた復興まちづくりを目指す人は、暮らす人が「住み続けたい」と思える、市外の人々が「行ってみたい」と思える、そして誰もが「共に楽しむ」人が「多い」と思えるまちになること。そのためには、暮らしの満足度向上と観光地としての魅力向上の両輪ががんばり

を生み出していくことが大切です。魅力あふれる人吉の個性の保有大切にし、最大限に活動することで暮らしのわいを充実し、地域への再投資が生まれれる、そこから育つのが、次世代の子ども達や外の人々がファンとなり、また、地域へ再投資する（ヒト・モノ・カネ）

#### 自指し開輪サイクル

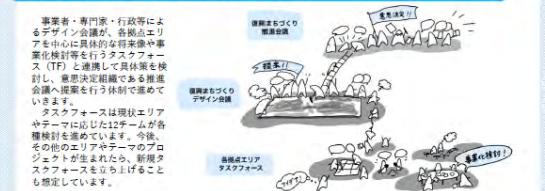


### アクションプラン策定まで

まずは、まちなかグランドデザインは開かれていたりのビジョンは、まちの人、事業者、専門家のアイディアや意見を募りました。令和6年11月にアクションプラン策定をよりました。その後、5月にはアクションプランのまちの人々の意見交換、今後7月にはアクションプランをとりました。

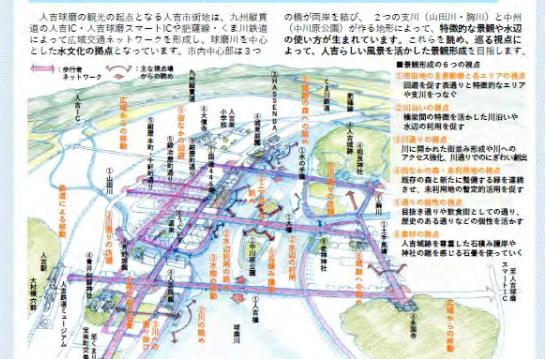


### 地域の人・専門家・行政の意見から具体案へ



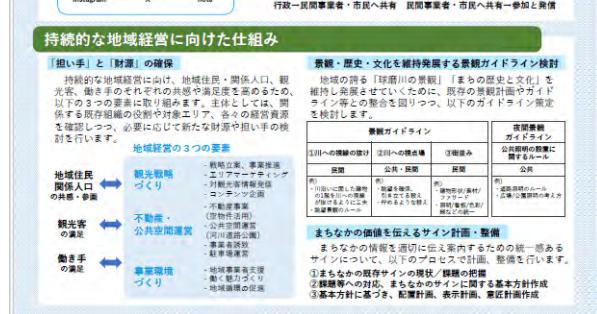
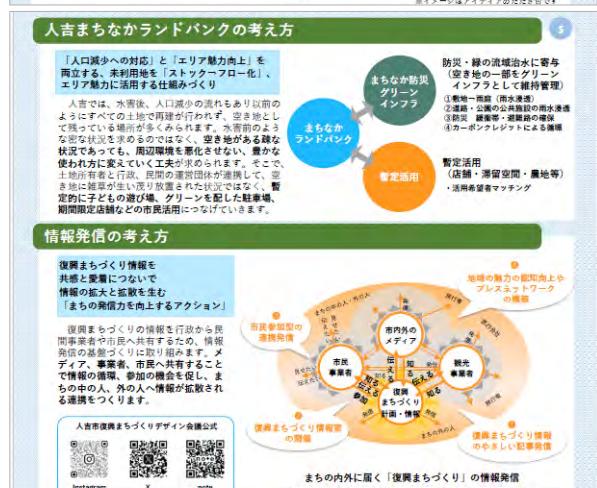
### 景観形成の考え方

#### 特徴的な「水・森・道」を活かした公共空間整備と民間利活用との連携によって、人吉らしい景観を形成



### 交通・駐車場・モビリティの考え方





このアクションプランは、まだ策定されたばかりのものです。本日ご説明させていただいた内容は、これから本格的に具体化へ向けて動き出すものばかりでございます。今後、計画を進めていくにあたっては、行政だけでなく、地域の皆様お一人おひとりが主役となっていたいただくことが、何よりも大切だと考えております。本日お集まりの皆様にも、このまちづくりの「主体」として関わっていただけますようお願い申し上げます。



## 「令和6年度」中心市街地地区公共空間活用事業に関する検討業務の経過報告



人吉市復興建設部  
市街地復興課 井上敬明様

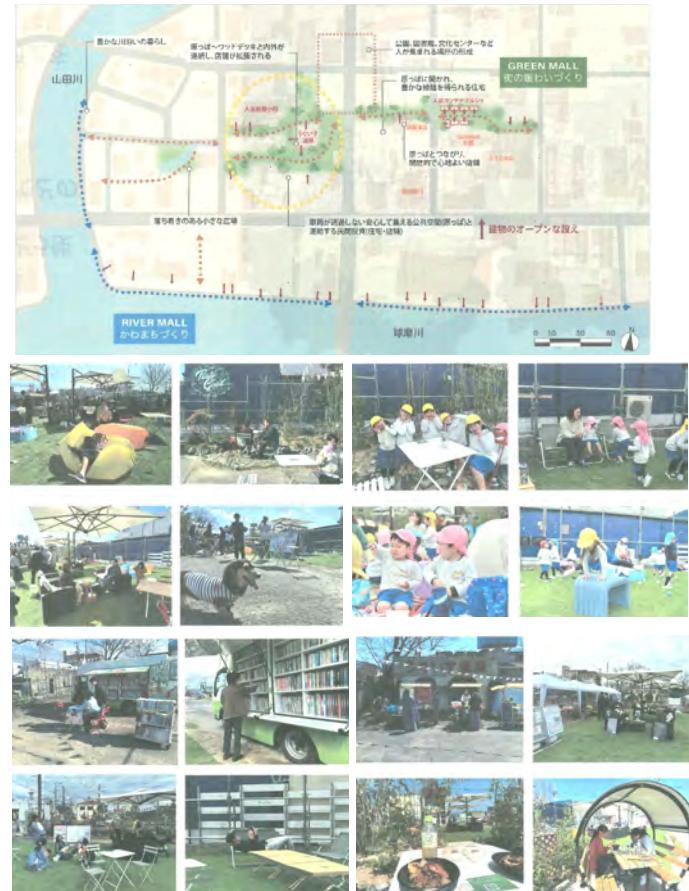
皆さん、こんにちは。市街地復興課の井上と申します。私からは、先ほど少しご紹介がありました、紺屋町・うぐいす温泉周辺で進めている公共空間活用事業について、具体的な取り組みやその考え方をご説明いたします。お手元に資料を配布しておりますので、ちらもご覧いただきながらお聞きいただければと思います。

事業を検討するにあたりまして、中心市街地の将来ビジョンとして、人中心のウォーカブルという聞き慣れない言葉ですけども、これは歩きやすい、歩くのが楽しいという意味です。そのウォーカブルなグリーンモール構想というものをを作るための仮説を立てているところでございます。そのストーリーとしまして、中心市街地エリアが現在空き地の増加によりまして活気が若干失われているという現状から、空地を心地よい美しい緑のウォーカブルによってつなぐことで町の風景が変化することを目的とするものでございます。その結果、豊かな環境の周辺に居住や出店ニーズといったものが生まれまして、民間の投資欲につながるということを想定した構想となっております。

具体的に、うぐいす温泉周辺は、この「グリーンモール構想」の中心エリアとなる場所です。この構想の柱となるプロジェクトとしまして公共空間等の検討を進めているところでございます。

現在、その第1弾としまして取り組んでおりますのがうぐいす温泉周辺の敷地を活用した社会実験で、今月3月1日から30日までの1ヶ月間実施しております。

この社会実験は一時的なイベントではなく、将来の日常の暮らしを考えた使い方の確認と地域の価値を高めることという2つの目的を立てまして、未来の暮らしを想定して、今後、この中心市街地の土地をどう使



うかを試しまして、公共の広場として想定される機能が日常生活の中でどのように役立つかということを検証していくことを目的としております。

具体的な取り組みとしまして、敷地を一時的に緑の多い広場として整備し、地域の皆さんや観光客の方が自由に過ごせる空間をつくりました。まちの中での活動の実践の場としても機能するよう工夫しています。

オープニング初日の3月1日には、大人から子どもまで多くの方々に訪れていただきました。また、平日には「移動図書館」を呼び、読書や交流の場としても活用しています。これは、街中に図書館を望む声を受けて試行しているものです。さらに、地元の幼稚園の園外活動としても使われており、子どもたちの運動や遠足の場としても好評です。週末にはマルシェが開催され、地元の出店者の方々によるにぎわい創出にもつながっています。

最後に、今後の展開ということで記しておりますが、この1ヶ月間の社会実験の成果をもとに、運営方針や公共空間としての機能等を整理していきます。そして、中心市街地のエリア価値を高めていく事業を検討していきたいと考えているところでございます。



以上が、うぐいす温泉周辺における現在の取り組み状況となります。

## ■中川原の復興状況について

続きまして、本日資料の配布はございませんが、現在の中川原の復興状況についてご報告させていただきます。

中川原公園の災害復旧工事につきましては、令和7年3月、今月に芝張りの工事およびコンクリート舗装などの工事がほぼ完了いたしました。現在は芝の養生期間中であり、ゴールデンウィーク明けまで、その期間を設けているところです。

次に、多くのご要望をいただいておりますトイレについてですが、令和7年度には「移動式トイレトレーラー」の設置を予定しております。

また、護岸工事につきましては、国の管轄となっておりますが、八代河川国道事務所の方で来年度に実施が予定されております。

このような中川原公園の整備を進めるにあたっては、地域の皆様のご意見を踏まえながら事業を進めていきたいと考えておりますので、来年度に「社会実験」の実施を予定しております。そこで住民や利用者の皆様からご意見をいただき、その内容を精査し、今後の方針を決定してまいります。基本的には、先ほどご説明がありました「まちなかグランドデザイン」の方針に則り、今後の利活用や整備を進めていく予定です。

・・続いて、『紺屋町被災市街地復興土地区画整理事業』について、現在の進捗状況と概要をご説明いただきました。

## 【寄付カード】

〈ニコニコ箱〉

- ・**岩井会長** 竹内次長、井上次長、山尾係長、卓話ありがとうございました。復興より良い街になるよう頑張って下さい。優良職員推薦の件、宜しくお願いします。表彰に規定はありません。
- ・**水野会員** 早退します。

〈R財団〉

- ・**伊久美幹事** 人吉市 竹内次長様、井上次長様、山尾係長様、大変貴重なお話ありがとうございました。人吉の街なかが昔のような賑わいを取り戻すことを切に願っております。

点鐘 岩井和彦 会長